



例年に比べ参拝者も倍増！栗山天満宮



昼も夜も大勢の人たちで賑わう！



玉の動きに一喜一憂！スマートボール

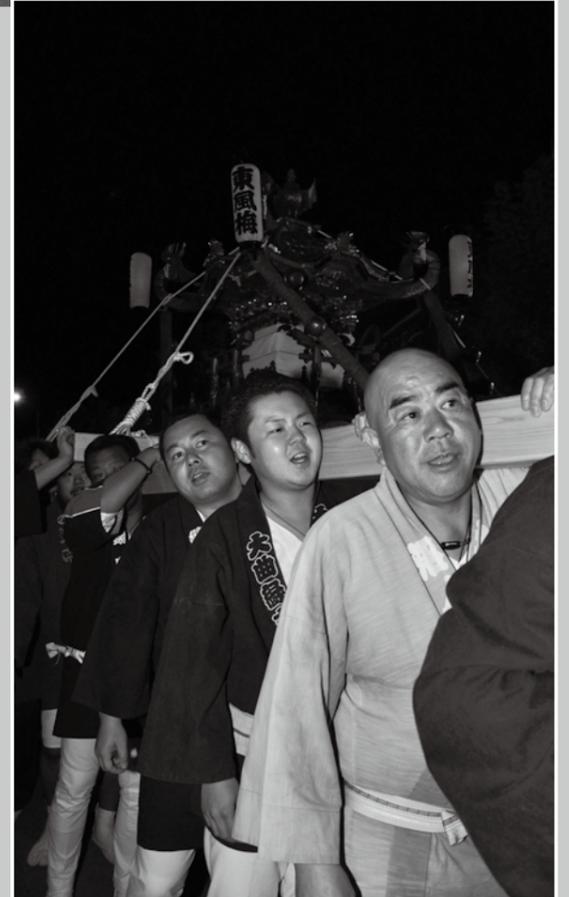


迫力満点！オートバイサーカス



栗山天満宮例大祭

ふるさと栗山の秋の風物詩「栗山天満宮例大祭」。青空が広がった今年は320を超える露店が栗山に結集。特産品が集う「くりやま味覚まつり」が開催されたほか、神輿東風梅や親子獅子舞が祭りに彩りを添え、およそ11万人の来場者を楽しませました。



神輿チーム 50 団体 300 人超が応援に駆けつけた東風梅



青空のもと華麗に踊る親子獅子舞



セイヤー！サー！新しい神輿で初出陣！東風梅ジュニア

祭



せたな町の獅子舞も来てくれました！噛まれると無病息災…でも、やっぱり泣いちゃいました。



角田市の特産品も販売された、くりやま味覚まつり

備えよう！災害から命を守るために！

地震が来る前に準備すること①



9月1日の「防災の日」に前後して町では、8月28日に防災講演会と防災図上訓練、9月11日に総合防災訓練を実施しました。今月号から、防災講演会で道教大札幌校の佐々木貴子准教授がお話しされた内容を中心に「地域防災力」の向上について連載していきます。

地震は突然襲ってきます

台風や集中豪雨などの異常気象災害の場合は、あらかじめ警報や注意報が発令され警戒態勢をとることが出来ます。しかし、地震は何の前ぶれもなく突然襲ってくる災害です。その時に備えましょう。

油断は大敵！

「自分だけは大丈夫！」。皆さんはそう思っていないですか？佐々木准教授曰く、これは災害に対する人間の基本的な心理のようです。事態を楽観視し災害を軽視する心理、自分に都合よく考える心理、客観的な予想ではなく願望を含めた予想に執着する心理、これらを総じて「正常化の偏見」と言うそうです。

防災意識の向上、知識と訓練

「栗山町に大きな地震は起きない。それに自分だけは大丈夫」と思いながらも危険です。栗山町は石狩低地東縁断層帯の上に位置しています。地震は起こるものと意識しましょう。日頃から防災に関する講演会などに参加し



知識を広げることや、防災訓練などに参加し落ち着いて行動できるようにすることが、いざという時に皆さんの命や財産を守ることにつながります。

◇ ◇ ◇

次ページ以降は、実際の地震が来る前に、各自、各家庭で準備できることを列挙していきます。

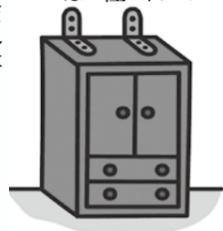
ご家庭の地震対策は？

・自宅の耐震化はお済みですか？
耐震基準は昭和56年に改正されています。自宅の耐震性を知り、必要に応じた耐震改修を行うことが大切な命や財産を守ることにつながります。



・家具の倒壊から身を守りましょう！
家具の落下や転倒は、負傷者が出る一番の原因です。家具類は固定してしまい、その上に荷物などを載せないようにしましょう。

特に寝ている場所に倒れてくる可能性があるある家具は、要注意です。
避難路を確保しましょう



避難路となる廊下に、倒れてドアをふさぐような家具はありませんか？

・ガラスや食器の飛散防止
ガラスには飛散防止フィルムを利用。食器棚は、食器の下にタオルなどを敷き、観音開きの扉には鍵や耐震ロックをつけましょう。



細かな準備と心構え

・裸足では歩かない
地震の時、割れたガラスなどを踏んでしまわないように、スリッパを常備したり、古いスニーカーなどを洗ってベッドの下に置いておきましょう。



・就寝中、眼鏡はすぐ取れる位置に！
水を確保しておく



どんなに食べ物を保存していても、その調理には水が必要になります。第一に、ヤカンなどに水を溜めておくことが基本です。



また、風呂の残り湯は防火用水に利用できるだけでなく、生活用水にも利用できます。バケツも必需品です。

・車のガソリンはできるだけ満タンに
車はエアコンが付いていて暑さ寒さをしのげます。またテレビ・ラジオなどで情報収集ができます。でも避難には使わないでください。

非常用持ち出し品 備蓄品を用意しよう

有事の際は、どんなものでも入手が困難になります。日頃から最低限の準備をしておきましょう。
用意するものは大きく分けて3種類あります。

- ①生きるために必要な食料と水の必需品
- ②最初に持ち出す非常用持ち出し品
- ③復旧するまでの数日間を支える非常備蓄品



■必需品

食料、水は3日分が必要と言われています。地震発生から72時間は人命救助が最優先されるため、行政からの支援は期待しにくいという理由です。

□水(目安…1人1日3リットル)

持ち出し用の水は、重くならない範囲にとどめ、備蓄用に数日分を用意しておきましょう。

□非常食

長期保存が出来るものを選び、飽きないよう変化をもたせ、いろ



■非常用持ち出し品

- 懐中電灯 □ラジオ
- 乾電池
- 携帯電話と充電器 □救急セット
- 通帳・印鑑・現金(小銭も)
- 身分証 □雨具 □手袋・軍手
- ティッシュ・ウェットティッシュ
- タオル □ホイッスル □防寒具
- 衣類 □万能ナイフ □ラップ
- 布ガムテープ
- 家族の写真(はぐれた時のため)(必要に応じて)
- 紙おむつ □生理用品 □常備薬
- メガネ用品

■備蓄品

- カセットコンロ □数日分の衣類
- ろうそく・ライター・マッチ
- ビニールシート □ヘルメット
- 反射式ストーブ・灯油 □靴

持ち出し品、備蓄品を用意しようとして最初から意気込むと重荷になりますし、金銭的な負担も大きなものです。始めは普段の買い物の延長で、食べ物や品物を買って足していく程度でいいと思います。無理をせず、少しずつが肝心です。

「コレがないと困る」と感じる品物を考えて備蓄すると、案外近道かもしれません。